



# 連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局  
Tel&Fax894-0052 <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~renkyou/>  
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第242号

2009.11.01

## 全国交流集会 IN 横浜

第35回の節目で政権交代後初、しかも連協が実行主体という記念すべき今年の道路全国連全国交流集会は、全国から41団体200人(連協からは52名)を超える参加者を得て10月24-25の両日横浜で開催され、すこぶる意気上がる大会となった。



ヨコハマ集会実行委員長挨拶  
連協 比留間会長

24日はバスにて、庄戸、公田インターチェンジ、田谷インターチェンジ等の各南線予定地を見学、夜は懇親会で交流を図った。

翌25日は市従会館で講演会と分科会が行われ、五十嵐法政大教授による「これからの道路行政は?」、西村弁護士による「PM2.5 環境基準問題」、輛の浦裁判担当弁護士による「輛の浦世界遺産保存訴訟勝訴報告」など、大変重要かつ有益な講演があった。



講演する五十嵐教授

五十嵐氏は公共事業問題の権威で早くから政官業癒着の道路行政批判で夙に有名な方であり、民主党馬淵議員などに対して影響力を発揮されてきた。但し氏は、高速無料化については、財政及び環境負荷増の観点から反対している。いずれにしても新内閣は財政問題を筆頭に前政権の残した難問が山積のため、我々としては性急な期待は避け、長い目でBACK-UPすることが肝心であるとのご意見であった。

午後には3分科会に分かれ、①新政治体制での道路政策、②審議会・委員会の改善、③道路関連裁判事例と問題点、がそれぞれ真剣に討議された。



講演に聞き入る参加者

今後の道路反対運動の在り方について活発な討議がなされ、結論としては、「総ての計画道路について、建設を中止した上で、改めて長期的総合交通計画を策定し、その基本に即した、かつB/C数値が高く本当に必要な道路のみを厳しく選定し、不必要な事業は無条件で打ち切る」というものであった。

私たち連協ではご承知のとおり、年度内に15年目の事業評価監視委員会が開かれる予定となっているが、政権交代に過大な期待を寄せることなく、従来通り自助努力に努め、粛々と科学的に反対論理を展開していけば、必ず白紙撤回を勝ち取れると確信している。(朝日平和台 松本)

## 高尾山にも新風！

10月12日(日)、秋晴れの一日、ブナの大木がそそり立つ山道を、せせらぎの水の音を聞きながら一時間ほど歩いて高尾山山頂に着いた。まさにそこは都会のオアシスだった。

毎年、高尾山の麓で開催されていた「圏央道反対集会 天狗の行進」も25年目を迎え、今年は「高尾山天狗ハイク 2009」というスローガンのもと山の中腹にある薬王院横の広場で開催された。各地からの支援者約500人は「高尾山にトンネルをほらないで」とプリントされたお揃いのTシャツを着てハイキングを楽しんで合流した。

高尾山を愛する若い世代によるライブ等も好評で嬉しい。政権交代で「コンクリートから人へ」と大きく時代が変化を始め、高尾山の天狗も心なしか微笑んでいるようだった。連協からは10名が参加。

(庄戸三丁目 田中)



### 活動報告

- 10/07 横浜 468 検討委員会(連協内委員会、国道468、横環南線を示す)
- 10/9 統一パレード四団体実行委員会
- 10/12 高尾山天狗ハイク参加
- 10/18 横浜 468 検討委員会
- 10/21 新刊「道路独裁」著者(星野朝日新聞記者)との意見交換
- 10/27 横浜 468 検討委員会
- 10/28 馬淵、長島両議員会館に陳情訪問(秘書対応)
- 10/28 高尾山トンネル事業認定取消裁判傍聴(B/Cに関わる国交省証人喚問)
- 10/30 国交省関東整備局、横浜国道事務所申入れ(事業評価監視委員会対応)

## 第21回 統一パレード&集会 のお知らせ

参加しよう！集まろう

政権交代！

「国民の目線、無駄な公共工事の見直し、コンクリートから人へ」に向って、伝えよう、実践させよう！

その力は参加と継続

そこから私たちの思いを新政権に届けよう！

**日時：11月23日(月・祭日)**

**パレード各コース出発：10時00分**

・Aコース (集合：本郷台駅リリス前)

⇒図書館⇒公田小下⇒桂台

⇒本郷台グリーンテラス

・Bコース (集合：神戸橋)

⇒犬山⇒湘南桂台⇒桂台

⇒本郷台グリーンテラス

**集会 11時00分～13時00分**

・場所：グリーンテラス(桂台第五公園)

・おでん！ トン汁！田谷の野菜即売！

・トランペット演奏もあるよ！

### 編集後記

「全国交流集会 IN 横浜」の事務方の一員として運営に携わり、全国の皆さんとの交流を通じて、如何にこれまでの行政が一方的であったかを(解っていながらも)思い知らされました。道路公害から生活環境を守るため、全国で事業・工事差止等の裁判が勃発し、また問題提起と改善要求が粘り強く続けられていることも実感しました。

一旦始まったら絶対に止まらなかった公共事業、新政権は期待できるか？国民の目線、すなわち私たち自らが提言・指導していかなければなりません。

本年は横環南線の15年目の事業評価委員会が予定されています。住民にとっては全く不要なもの、国民にとっても「あれば便利」で済むことで片づけられる時代ではなくなりました。正に不要不急の公共工事であり、白紙撤回を目指し粘り強く要求していきたい。(事務局 長谷川)